

2—45—0

(包紙)

「御城主但馬様より米府御小仕置

坂川大脇加納御三人江手前竹嶋より

取戻候ミち之油之御裁許之御書入」

2—45—1

御状拝見申候

竹嶋舟無事ニ

罷戻、九右衛門仕合も

大形ニ可在之由一段

儀候、油直段相

究其元ニ而拏

残弥上方へ成共

何方へも九右衛門

心次第尤候、將又

尾高町傳右衛門後家

相果候由、家ハ弥

壳家ニ可被仰付候

其上ニ而此方へ可

被仰越候、恐惶謹言

荒但馬

七月廿五日 □□

(花押)

坂川文右衛門殿

大脇太左衛門殿

加納久大夫殿